

令和3年第2回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和3年2月25日(木) 場所 第一分庁舎2階会議室

午後2時30分～午後4時

総合教育委員会終了後 再開 午後5時00分～午後5時30分

2 出席者

教育長 畠山敏一

1番 伊東潤一郎

2番 山浦春美

3番 片山さゆり

4番 松本修治

3 出席職員

次長兼教育総務課長	窪田昌之	学校教育課長	上田靖
生涯学習・スポーツ課長	政二弘明(欠席)	地域協働課長	小林孝仁
こども課長	矢野道宝	学校給食センター所長	高吹浩司
図書館長	初道ゆかり	水族館博物館管理課長	石川勝弘
埋没林博物館長	石須秀知	総務係長	石崎薫
学校教育係長	近堂暢昭(欠席)	スポーツ係長	高森哲也
生涯学習・文化係長	塩田明弘		

4 傍聴人 1人

5 会議の要旨

午後2時30分 畠山教育長が開会を宣する。

(1) 会議録署名委員の指名について

1番 伊東潤一郎委員を指名した。

(2) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(3) 議案

議案第3号 魚津市行政機構の改革に伴う教育委員会関係規則の整備に関する規則の制定について
石崎総務係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第4号 魚津市図書館条例施行規則の一部改正について

初道図書館長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第5号 新川学びの森天神山交流館条例施行規則の一部改正について

塩田生涯学習・文化係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第6号 魚津市行政機構の改革に伴う教育委員会関係規程の整備に関する訓令の制定について
石崎総務係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第7号 魚津市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
初道図書館長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第8号 魚津市中学校部活動指導員設置要綱の一部改正について
上田学校教育課長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第9号 魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
小林地域協働課長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第10号 魚津市教育振興基本計画の策定について
石崎総務係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第11号 教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（令和元年度分）について
石崎総務係長、上田学校教育課長、塩田生涯学習・文化係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第12号 令和2年度魚津市教育委員会重点施策について
窪田次長、各担当課から説明し、全員意義なく承認した。

(4) 報告事項

- ①令和2年度3月補正予算について
- ②小中学校卒業式及び入学式の出席予定について
- ③令和2年度スポーツ係主要行事について

議事

【魚津市行政機構の改革に伴う教育委員会関係規則の整備に関する規則の制定について】

伊東委員

魚津市の行政機構改革は、どのような理由により行われますか。

窪田次長

国にデジタル庁が設置されたように、魚津市においてもデジタル化の推進を進めることや、全庁的な危機管理体制の整備を行うために防災を強化、総合計画を推進するためにスマートシティやゼロカーボン等を進めるために組織の見直しをはかる必要があります。

教育委員会においては、GIGAスクール構想によりタブレットや電子黒板の整備が完了しました。今後は、大きく変化したICT環境を適切に運営管理するために、課を統合し、効率的かつ柔軟に対応できる体制とするために課の統合を考えているところです。

伊東委員

課の統合により整備と指導を同じにすることは意味のあることだと思います。国でもそうですが、今までの体制では業務ができないから新しい組織を作るとありますが、今回の統合は、行政のスリム化のために総合するということですか。

窪田次長

行財政改革において職員数の定員管理を行っていく必要があります。職員数を増やすことが、なかなかできない状況にあり、この形がベストであると考えています。

統合により職員数が減るのではなく、今までどおりの人員で業務を横断的にやっていく予定です。

伊東委員

管理職が1人減って、実務の職員が増加するということになりますか。

教育長

学校教育課長のポストが課長ではなく、参事になる予定です。給与等も変わらず、今までと実質的には変わらないということになります。

【魚津市図書館条例施行規則の一部改正について】

伊東委員

電子書籍はインターネット上で貸出、返却できる管理システムがあるのでしょうか。

初道図書館長

図書館用のシステムがあります。県内においては、氷見の市立図書館が2年前から行っています。IDとパスワードの交付を受け、ネット上で借り、返却もできます。期限が来れば自動的に返却になるシステムです。

伊東委員

専用のソフトウェアをツールに入れることになりますか。

初道図書館長

ホームページ上で読むことになります。

伊東委員

返却されないと次の方に貸し出すことができないということですか。

初道図書館長

そうなります。

【新川学びの森天神山交流館条例施行規則の一部改正について】

山浦委員

新川学びの森天神山交流館の指定管理期間は、引き続き公募がなければ、一年ずつ延びていくのでしょうか。

窪田次長

指定管理の期間は1年間になります。令和3年度中に新しい管理団体をなんとか選定していきたいと教育委員会では考えています。

今年にはコロナ禍により民間への譲渡ができなかったため、1年延長するものです。

【魚津市教育振興基本計画の策定について】

松本委員

49 ページの二つ目の○（めざす姿）が修正漏れとのことですがどのように変わりますか。

石崎総務係長

一番目の○（めざす姿）と内容がダブっているので、二つ目の○を削除します。

山浦委員

60 ページの施策の展開の題名ですが、「きめ細やかな教育の充実」となっていますが、「きめ細かな」という表現でいいと思います。

石崎総務係長

確認します。

伊東委員

この計画は、誰を対象に、誰が行動するために作成した計画なのでしょう。

伊津市が子どもたちの教育のためにやっていくものなのか。それとも市民がこの計画をもとに行動してもらいたいということを伝える計画なのですか。

窪田次長

市民を対象にしています。

伊東委員

例えば53ページに「家庭と地域との連携」とありますが、学校や教育委員会が取り組むことと もう一つ大事なポイントが家庭や地域がどのような取り組みをするかということです。

家庭の役割をもう少し教育の中でやっていかないと先生方の負担は減らないと思います。また、教育の中で道徳を行うのも大事ですが、道徳の教育の中で一番大事なことは家庭教育です。そのようなことを市民に伝えていくことが必要だと思います。

山浦委員

策定委員の名簿を見たところ、各種団体の代表者で構成されています。家庭のことはPTAの方、地域のことは公民館の方などと、それぞれの組織において責任を持ってやっていってもらわないと意味がないのかなと思います。

教育振興基本計画に基づき、自分が何をすべきか。というふうに捉えていました。

計画を策定するだけでなく、各種団体が計画内容を実践できるように働きかけが必要になります。

伊東委員

経済同友会で富山県に提言書を提出します。提言の中身を議論していく中で、提言一つ一つ、誰が行動し、何をしてほしいかということに記載する必要があるだろうという意見がありました。

誰が何をすべきかということが分かるようにする必要があると思います。

窪田次長

伊東委員が言われるように、この計画をバージョンアップする必要があったと思います。総合計画においては、施策を進めるための役割分担として、市が取り組むこと、市民・事業者ができることと分けて記載しているところです。総合計画の中で教育分野の政策が3つあり役割分担が示されています。教育振興計画とともに実行性を高めていきたいと思っています。

教育長

教育委員会が中心となって、広く市民に働きかけていくことが必要で、どのように実践していくかということを考えていかなければならないと思います。

伊東委員

例えば、教育振興基本計画の基づき保護者がすべき役割がなにであるかということやPTA会長などが説明する場面があればいいと思います。

【教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（令和元年度分）について】

伊東委員

学識経験者の意見を聴くことは、良いことだと思います。意見に対してどのようなことをやっていきますか。

窪田次長

どのように意見が反映しているという一覧表を作成すればわかりやすかったかもしれません。学識経験者の意見や市議会の決算に対する指摘事項、監査委員の審査事項を翌年度予算に反映させている

ところ です。

伊東委員

県の委員をしております意見書を書いております。意見に対して実行したもの、実行していないものはどのように展開するかということに記載しています。

【令和2年度魚津市教育委員会重点施策について】

伊東委員

予算の中で固定費と実施的な事業費を区分して教育委員会の中で見ていった方がいいと思います。

例えば、人件費や施設管理費とほかの事業を区分することで事業の増減がわかりやすくなります。

窪田次長

予算を組む最初の段階で、性質別経費に分けて行うべき事業を計上しています。

松本委員

各小学校のプールがなくなり、プール授業は市民プールで行う方針は決定でしょうか。

窪田次長

公共施設再編方針に基づき施設総量を縮小していく必要があります。プールを統合することにより市民プール建設に対する補助金が交付されます。

松本委員

プールの維持管理に莫大な費用が必要なことは理解しています。ただ、子どもは授業よりも夏休みのプール開放で遊びながら泳ぎを覚えていくので、それがなくなるのは残念だなと思います。

窪田次長

ここ最近では、夏季プールの利用実績が20%ぐらいになっています。このような現状も踏まえて、学校プールの再編を行います。

山浦委員

利用率が低いのは、統合により学校が遠くなり、行きたくても行きにくくなったのではないかと思います。

窪田次長

新年度において夏季プールについてどうするか検討していきます。

教育長

令和2年度は、コロナ禍により夏季プールの開放を行いませんでした。そのため、ミラージュランド等で使用できる100円のチケットを10枚配布しました。2割ほどの利用がありました。

議事が終了したので教育長が閉会を宣した。